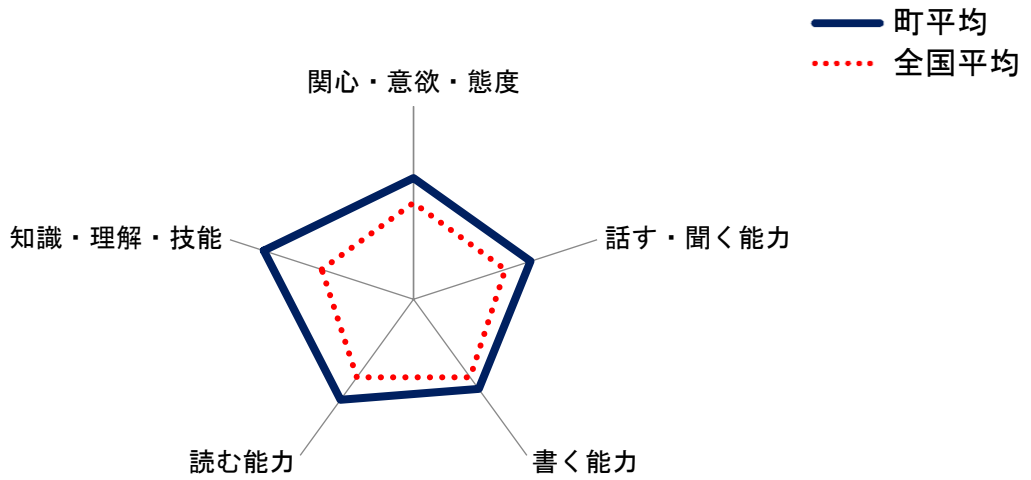
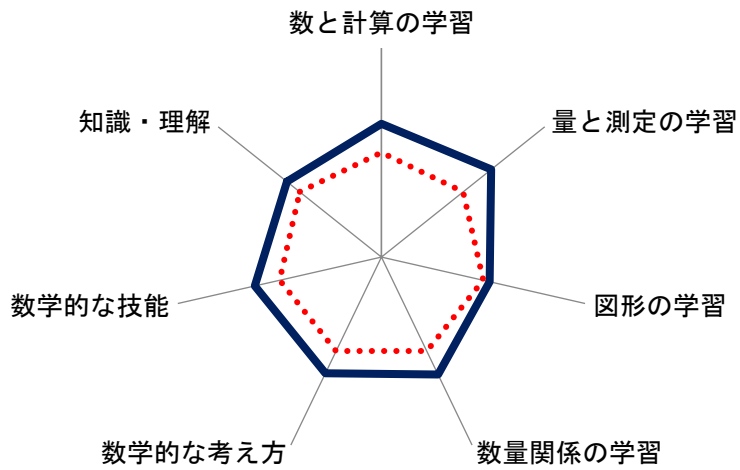


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】



【算数】

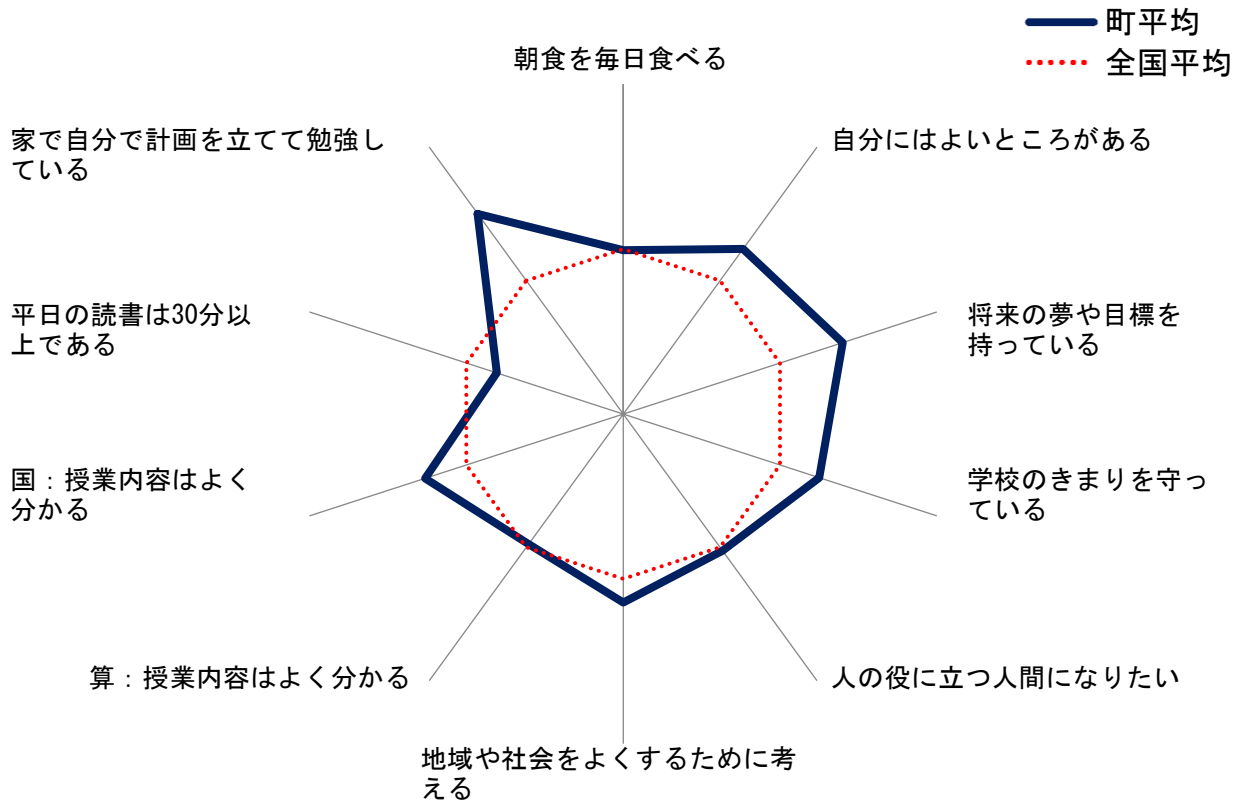


小学校

令和元年度 全国学力・学習状況調査
(学習や生活の状況) 結果

松前町

○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語、算数の全ての項目が全国平均を上回っている。特に国語は「知識・理解・技能」、「読む能力」、「話す・聞く能力」、算数は「量と測定の学習」、「数と計算の学習」の各項目が全国平均を大きく上回っており、基礎基本の定着が図られている。今後も、知識と活用を一体的に捉えた学力を維持していけるよう、児童一人一人の実態に応じたきめ細かな指導を継続することが望まれる。

児童質問紙調査では、取り上げている多くの項目が全国平均を上回っており、特に「家で自分で計画を立てて勉強している」、「将来の夢や目標を持っている」の各項目はたいへん良好である。「平日の読書は30分以上である」の項目は、引き続き全国平均を大きく下回っており、課題であると言える。本に親しむ態度の育成のために、みきゃん通帳等を有効活用した図書館の利用促進を図るなど、児童一人一人に応じた読書活動の充実を図る指導が望まれる。